

日本国際交流センター

職員募集

(2021年1月31日締切)

「グローバルファンド日本委員会」担当プログラム職員

(公財) [日本国際交流センター \(JCIE\)](#) では業務拡大につき、以下の要領で、グローバルヘルス分野 (主にグローバルファンド日本委員会) を担当する職員を募集いたします。

○採用人数 1名

○雇用形態 任期付き常勤職員 (双方の合意により任期延長または正職員としての雇用への切り替えの可能性があります。)

○業務内容

日本国際交流センターは、グローバルヘルス (国際保健) を、重点領域の一つとして設定しています。新型コロナウイルスのような国境を超えて地球規模に広がる感染症に代表されるように、保健医療問題は国際関係に大きく関わり、国際協調に基づく対応が求められています。JCIE は、グローバルヘルス分野における日本の国際的役割の強化のため、民間の立場を活かした政策形成や世論形成への貢献を目指し、官民連携プラットフォームの運営、政策対話、政策提言、情報発信などを実施しています。現在、グローバルヘルス分野では、以下の4プログラムを行っています。

- ・ [グローバルヘルスと人間の安全保障](#)
- ・ [グローバルファンド日本委員会](#)
- ・ [アジアの高齢化と地域内協力](#)
- ・ [WHOのための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金](#)

グローバルファンド日本委員会と担当業務について

[グローバルファンド日本委員会](#)は、国際機関「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」(略称グローバルファンド)を支援する日本の民間イニシアティブです。2004年に日本国際交流センターの事業として開始し、世界の三大感染症の流行終息のための日本の国際的役割強化を目的としています。政府、学界、市民社会、経済界などの有識者や、超党派の国会議員の参加を得て、三大感染症の脅威とグローバルファンドの役割についての理解促進、政策対話、アドボカシー、調査、意識啓発を行い、日本とグローバルファンドとの連携を促進しています。

グローバルファンドは、2000年のG8九州・沖縄サミットが契機となり2002年にジュネーブに設立されました。官民連携のガバナンスと、事業を実施する低・中所得国の主体性尊重を特徴とする新しいタイプの国際機関です。

採用された方には、当センターおよびNYの米国法人日本国際交流センターの職員との連携のもと、以下の業務の一部を担当いただきます(資質と経験により業務分担を決定)。

- グローバルファンドの機構、資金供与方針、成果、各国からの拠出状況、調達・供給網、官民連携などに関する情報収集・分析、翻訳、情報発信
- 三大感染症および新型コロナウイルス感染症に対する日本の国際協力に関するアドボカシー
- 国際会議、セミナー、各種イベントの企画立案・運営 [\[事業例 1\]](#)[\[2\]](#)[\[3\]](#)[\[4\]](#)
- 広報業務(メディア対応および、ニュースレター、ウェブサイト、SNS の原稿執筆・編集・工程管理) [\[刊行物例 1\]](#) [\[2\]](#) [\[Facebook\]](#) [\[Twitter\]](#)[\[website\]](#)
- 議員やメディア等の現地視察の企画運営・同行 [\[事業例-議員視察\]](#) [\[プレスツアー\]](#)
- 国会議員、官僚、研究者、NGO 関係者、企業関係者、メディア関係者など国内のステークホルダーとの連絡調整
- ゲイツ財団をはじめとする民間財団、国際機関、国際 NGO など海外ステークホルダーやパートナー団体との定期的な会議・連絡調整
- 予算管理・報告書作成
- その他グローバルファンド日本委員会の運営に関する一切の業務
- 状況に応じて、JCIE の他のプログラムの各種国際会議の運営補佐

JCIE のプログラム担当職員に求められるのは、国内外の専門家、研究者、国会議員や政府関係者などと協力しながら事業を遂行していくコーディネーターの役割です。一定程度の専門性は求められますが、ご自身で専門分野を迫及するというより、幅広い調整力・コミュニケーション力がある方が適しています。

○勤務地・勤務時間

(公財) 日本国際交流センター

東京都港区赤坂 1-1-12 (最寄り駅: 地下鉄 溜池山王、霞が関、国会議事堂前、虎ノ門、虎ノ門ヒルズ)

9:30~18:00 (原則として土日祝日は休み、多忙期は出勤となる場合も有り。夏期休日、年末年始休日あり)

※12 月現在、新型コロナウイルス感染予防対策のため、在宅勤務とオフィス勤務の併用。1 月以降の状況は未定。

○勤務開始

2021 年 1 月から 4 月 1 日までの間の任意の時期に開始 (早期に開始できる方を優遇)

○任期

勤務開始より 2 年間 (24 ヶ月)

1 年経過時点で、双方の合意により任期延長または正職員としての雇用への切り替えの

可能性があります。

○待遇 任期に関する条件以外は、正職員と同等の扱いとなります。

- 給与は、学歴、職歴等を勘案し当センター規定に準じて決定（3ヶ月間の試用期間後に本契約）
- 賞与（年2回）、昇給（年1回）、各種社会保険制度完備、退職金制度有り
- 年次有給休暇、慶弔等特別休暇、産前産後休暇、育児休業、介護休業制度有り
- 通勤手当（公共機関の通勤費実費）、住宅手当、扶養家族手当（該当者のみ）有り

○応募条件と重視される資質

- 日本国際交流センターの活動主旨に賛同し、国際的な相互理解と日本の国際的役割の強化に深い関心と情熱をもっていること
- 大学卒業以上の学歴を有すること
- 日本語（流暢）およびビジネスレベルの英語力を有すること（目安としてTOEIC880点相当以上）
- 開発途上国の保健医療問題（特に感染症分野）に関心がある方。この分野の大学院で学位を取得または類似分野の組織で勤務経験がある方を優遇
- 5年以上の社会人経験がある方を優遇
- 広報業務、マスメディア対応、デジタル・メディア（ウェブサイトやソーシャルメディアなど）を使った情報発信の職務経験がある方を優遇
- 会議・セミナー等の企画・運営で職務経験のある方を歓迎
- Microsoft Office（ワード、エクセル、パワーポイント）をビジネスレベルで使いこなせること（オフィスPCはWindowsになります）、オンライン会議システムに対応できること
- モチベーションが高く、自分の仕事にコミットメントがあること
- 明朗活発で、高い対人コミュニケーション力を持っていること
- チームワークで仕事ができること

以上、応募書類と面接をもとに総合的に判断します

○応募方法

応募期間：2020年12月4日（金）～2021年1月31日（日）17:00（必着）

以下の書類を電子メールにて送付してください。

*年末年始休暇中（12月28日～1月4日）に受理した書類の受領確認メールのご返信は休暇明けとなります。

①履歴書

（様式自由、PDF / Word / Excel、写真付き、英語運用能力を示す検定を受けている方はその結果・得点も記載。）

②志望理由書

(様式自由、日本語、A4 1枚、PDF / Word、なぜ日本国際交流センターを志望するのかを明確にご記載ください。)

送付先：saiyo@jcie.jp (件名を「職員募集-グローバルファンド日本委員会」として下さい) * @前の空白を削除してメールを送信してください。

締め切りを待たず随時選考を進めますので、お早めにご応募ください。

○選考方法

第一次選考：書類審査 第二次選考：面接及び筆記試験(英文和訳、英作文)

書類選考の結果と面接日程を電子メールでご連絡いたします。

なお、第二次選考は、新型コロナウイルスの感染防止策を講じた方法で実施します。

※応募書類は、返却いたしませんのでご了承ください。なお、応募書類は当センターの[個人情報保護方針](#)に基づき取り扱います。

同時に募集している「グローバルヘルスと人間の安全保障」プログラム担当職員への併願も可能です。

=====

担当者からのひとこと

小規模ながらのフラットでアットホームな雰囲気職場です。30代のスタッフが多く、それぞれの強みを活かしながらアイデアを出し合って事業を企画・運営しています。グローバルヘルス、開発の分野で活躍したい皆様のご応募をお待ちしています。